

進路だより

広島県立西条特別支援学校

進路指導部 No.6

令和3年11月26日

高3生徒の進路決定に向けて

キャリア教育の取組！

～進路決定で大事なこと～

高等部3年生は、卒業まであと4か月となりました。あと4か月で社会に出ていくということ。高3の生徒は、2月に高等部1、2年生を対象に、「進路報告会」を行います。進路決定に向けて、高1の時からのような取組をしてきたか、授業で振り返っているところ。今回は、その中で生徒が大事だと思ったことを掲載しています。

【生徒の取組・感想】

- ・自分のやりたいこと、好きなことを伝えること
- ・たくさん実習に行って、実際にやってみること

酒井ゆき

- ・相手に自分の顔を覚えてもらうこと
- ・情報を集めること

田中勝也

ぼくは、日中過ごす場と生活する場の二つの進路を考えなくてはいけません。進路を決める時には、実際に自分で見て、やってみることが大事だと思いました。

実習ではグループホームにも泊まってみました。緊張して園のことが気になりましたが、食事がとてもおいしくて自分に合っていました。

新しい生活に向けて、敬語が使えるようになりたいです。

洋一

進路を考える時に大事なことは、二つあります。一つ目は、自分が安心して過ごせる場所を自分で決めることです。そのためには、たくさんの事業所を見ることが必要です。私は、これまでに八か所の事業所を見学して実習しました。

二つ目は、一人でできることを増やしておくことです。卒業後は、一人で過ごす時間も増えます。私は、自分でiPadを操作して、詩を書いたり音楽を聴いたりできるようになりました。

吉岡 萌乃香



- ・自分の事を知ってもらうこと
- ・自分の生活リズムに合っていること

西川湧大

【進路決定に向けて、保護者の取組】

入学当初から、先輩方より卒業後の行き先があまりないということを聞いていたもので、小学部の頃から多くの事業所見学をしてきました。その中で、わが子に合いそうな事業所の情報を集めたり、利用者さんからお話を聞いたりしてきました。

実際に進路に向けて動き出すのは高等部に入ってからですが、それまでにたくさんの事業所を見てきたので、高等部に入ってからの見学や実習の計画をスムーズに立てることができました。ただ、高1の終わり頃から、新型コロナウイルスの影響で実習ができず、焦ったりもしました。

これから進路を決めていく後輩のみなさんにお伝えしたいのは、「進路について、親も積極的に取組むこと」「小学部の時から事業所の情報を得ること」「色々な福祉サービスを利用すること」です。早すぎることはないので、小学部の時から子どもたちを取り巻く環境に目を向け、情報を取り入れながら前向きに進路選択を進めてほしいと思います。

高3 保護者 酒井光

チャレンジ!!

～広島県特別支援学校パソコン技能検定～



高等部Ⅱ類型の生徒が、11月17日(水)広島県特別支援学校パソコン技能検定を受検しました。本校では、初の取組です。パソコン技能検定は、時間内に何文字の文字入力ができただかによって、級が取得できます。今回は、iPadやsurfaceなど、それぞれ自分のICT機器を使用してチャレンジしました。入力技術だけではなく、就労や卒業後の生活に必要な、返事・報告等の力も身に付けることができました。



集中して、文字入力をしています。技能検定に向けて、学校でも家でも練習しました。



支援が必要な時は検定員に、自分で依頼します。「〇〇してもらえますか?」と言えるようになりました。



開会式で校長先生から挨拶がありました。本校では、第1号の技能検定受検者だと言われて嬉しかったです。